

## 平成22年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市障害者体育センター
所在地	四日市市西日野町4070番地1
指定管理者	<p>名称 特定非営利活動法人 障害者福祉チャレンジド・ネット</p> <p>代表者 理事長 山本 征雄</p> <p>住所 四日市市小林町3017番地8</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒヤリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。</p>
担当部課 (問合せ先)	<p>福祉部障害福祉課</p> <p>TEL：059-354-8171</p> <p>E-mail：syougai Fukushi@city.yokkaichi.mie.jp</p>

### ■ モニタリングの総合コメント

平成22年度の四日市市障害者体育センターの管理運営状況については、例年のない猛暑と、特別支援学校西日野にじ学園の体制の変化で生徒数が減ったため、①7・8月の利用者が減少した ②障害児(者)の利用が大幅に減少した、等により年間利用者数は伸び悩みましたが、一般利用者については、昨年より利用者数が増えたので増益につながり、また光熱水費などの必要経費を抑えたので結果的に黒字経営になりました。

法人が実施したアンケートから、質の高いサービスが提供され、満足度が高いという結果が得られましたので、これが一般利用者数の増加と関係があったと考えられますが、反面、障害者の利用が減少した理由は、冷房設備がない施設の構造的な問題からなのか、障害者等の利用意欲の低下につながった理由を推測することはできませんでしたから、今後は指定管理者として、「障害者のスポーツ振興を図り、その自立と社会参加を促進する」という施設の本来目的を達成するために、アンケート項目の検討や幅広い内容の調査及び広報活動などを通じてニーズを把握するなど、今後さらなる創意工夫が必要と判断します。

施設の維持管理においては、障害者の視点に立った施設整備等が常日頃からなされ、整理整頓・清潔・安全面に配慮されて運営されていましたので、総合的に判断して良好と評価します。

業務内容については、条例・規則を遵守し、募集要項、仕様書等に定める業務を適正に実施されました。

22年度も、周辺5施設と連携した西日野福祉ゾーン合同防災担当者会議や訓練に参加し、自主事業を開催するなど、施設を地域の社会資源として有効に活用されていました。また、地域の避難所としての危機管理体制を職員に周知するなど、職員の意識向上に努力されていました。

安全性の確保、利用者の環境維持のための保守管理に優先的に経費が投入され適正な経営であると判断しました。

### ■ 今後の業務改善に向けた考え方

今後の業務改善については、以下のとおり、市の運営方針を指導していきます。

- ・当施設の目的である障害者スポーツの振興について、障害者の利用拡大がさらに図られるとともに、安心かつ安全に施設利用ができること。
- ・申込書・料金徴収・申込取消等の書類を整備し、申込者のニーズに応じた対応ができるようフィードバック機能を充実させること。
- ・アンケート内容の工夫等により利用者側の意見を十分に聞き取り、より一層利用しやすい環境づくりに努めること。
- ・指定管理者の特性を生かして、障害者団体・関係機関等と連携し、さらに活性化を図ること。
- ・オストメイトや玄関の手摺の設置による活用状況等も把握していくこと。

## 基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

### 合目的性・公平性・効果性

障害者の自立と社会参加を促進し、生活を豊かにするスポーツを楽しむ場を提供するという、施設の目的に沿った実施方針に基づき適切に管理運営が行われていました。施設運営や利用者への対応については、従来から利用の多かった身体障害者のみならず知的障害者団体や精神障害者団体も公平・平等に利用できるよう規定に基づき運用されていました。

22年度は障害者の利用数が減少しましたので、障害者の視点からのニーズ調査が必要です。

## 業務内容

### 機能性・独創性（事業への具体的な取り組み方）

指定管理者として障害者利用の観点にたった管理運営が実施され、玄関の手摺については担当課と調整して設置を実現しました。障害者が利用しやすいよう施設の清潔・整頓に努め、今年度も給茶サービスによる利用者との意見交換に努めました。

また障害者スポーツの普及啓発と社会参加を進めるため、引き続き自主運営事業を実施し普及啓発に努めていました。また障害者団体・近隣施設・地域等と、防災訓練や交流を図るなど、評価できる事業を展開しました。知的障害者団体や精神障害者団体に対する施設紹介を22年度も継続して実施しました。

### 責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

障害をもつ職員が、交代勤務体制で自身の健康管理もしながら従事していますが、ワックスがけの時などは、団体の組織力を生かして20名程度の障害者で一斉に行い、その場を活用して情報周知や防災訓練・点検を実施するなど、運営体制の維持・向上に努めていました。施設の維持管理についても、細部に渡り点検・補修されており、毎月の実績を市担当課に報告するとともに、異常等については速やかに連絡がありました。また適正な管理運営のあり方について職員研修が実施されていました。

### 明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

利用料金の収入や、施設管理費等の支出について適正に処理され、領収書や計算書類及び諸帳簿も整理されていました。施設の保守点検等に関する報告書類も整理されていました。

建物検査の結果に基づき、指定管理者としての責任範囲について、迅速に対応し、良好な施設環境の維持に努めていました。

### 安全性（安全管理、緊急時等の対応）

AED装置・大規模災害時の速報装置の点検を日々実施して危機管理に備えると共に、利用者からの意見も聴取し、非常時の誘導等に反映できるよう職員間で研修していました。また大規模災害時は、四郷地区市民センターを核とする組織体制のもとでの当該施設の役割と責務を再確認し、対応マニュアルを整備するなど職員間で徹底されておりました。

また、職員の資質向上として、22年度も「甲種防火管理者講習」と「普通救命講習」修了者を増やし、着実に職員体制を向上させていました。

### 社会性（環境等への配慮）

不要箇所の照明の消灯などに努めており光熱費削減につながりました。また、障害者利用時には適切な対応がとられていました。

## 事業収支

### 経済性

清掃・点検・補修を定期的 to 実施し、利用者に快適なサービス提供ができるよう有効に経費投入され、消耗品費や光熱水費の支出においては、徹底的にコスト削減に努めていましたので、非常に効率的に執行されていたと評価できます。一般利用者数の増加に伴う収益で、22年度は黒字経営となりました。

## 団体の経営状態

### 経営の健全性

指定管理者から提出された財務状況について財務諸表等を分析した結果、固定資産があるので安定しており、特に大きな課題や問題はないと判断しました。

# 施設概要調査書

## 1. 施設の概要

平成22年度

施設名	四日市市障害者体育センター		所管課： 障害福祉課
所在地	四日市市西日野町4070-1		設置年月：平成15年4月1日 (昭和52年5月29日三重勤労身体障害者体育センター)
設置目的	四日市市障害者体育センターは、障害者のスポーツ振興を図り、その自立と社会参加を促進することを目的とします。		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市障害者体育センター条例		
施設の概要	設備の概要	敷地面積 (m <sup>2</sup> )	2804.00
		延床面積 (m <sup>2</sup> )	975.51
		体育室725.76 m <sup>2</sup> 、事務室20.98 m <sup>2</sup> 、更衣室・便所等228.77 m <sup>2</sup>	
	事業概要	開館日 休館日(毎週火曜日、祝日、12月29日～1月3日)を除く日 利用者 ①障害者及びその付添者 ②障害者の団体 ③障害者のための事業の主催者 ④アマチュア・スポーツ団体 ⑤その他市長が特に認めたもの 利用料金 ①～③免除 午前 午後 夜間 午前午後 午後夜間 ④ 630円 740円 1,160円 1,160円 1,470円 ⑤1,470円 2,000円 2,730円 2,730円 3,780円 他付属設備等 600円	

## 2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
開館日数	295日	295日	計画通り
開館時間	日曜日 午前9時～午後5時 月曜日 午後1時～午後5時 水曜日～土曜日 午後1時～午後9時	日曜日 午前9時～午後5時 月曜日 午後1時～午後5時 水曜日～土曜日 午後1時～午後9時	計画通り

## 3. 利用実績

項目	前年実績	実施内容 (事業報告書)	対前年比	
延べ利用者数	障害者利用数	3,618人	2,310人	△1,308
	一般利用者数	3,295人	3,941人	646
稼働率	平均	84.1%	81.7%	△2.4%
	平日	83.5%	83.4%	△0.1%
	土日祝	85.2%	78.4%	△6.8%

## 4. 事業収支

(単位:円)

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
指定管理料	4,191,000	4,191,000	0
利用料金収入	174,000	231,627	57,627
収入計	4,365,000	4,422,627	57,627
人件費	3,217,500	3,216,287	△ 1,213
管理費	1,147,500	1,138,169	△ 9,331
消耗品費	231,500	218,012	△ 13,488
燃料費	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
光熱水費	498,750	458,285	△ 40,465
修繕料	179,500	134,000	△ 45,500
通信運搬費	41,750	38,220	△ 3,530
広告料	0	0	0
手数料	0	315	315
保険料	91,000	90,770	△ 230
委託料	90,000	132,000	42,000
賃借料	0	0	0
その他	15,000	66,567	51,567
事業費(ソフト事業等)	0	0	0
一般管理費	0	0	0
支出計	4,365,000	4,354,456	△ 10,544
収支	0	68,171	68,171

平成22年 運営状況 障害者体育センター チェックシート

1. 運営企画

項目	前年実績	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	295日	295日	計画通り	計画通り開館された。	適
開館時間	日曜日 午前9時～午後5時 月曜日 午後1時～午後5時 水～土曜日午後1時～午後9時	日曜日 午前9時～午後5時 月曜日 午後1時～午後5時 水～土曜日午後1時～午後9時	計画通り		
事業開催	6回	6回	0		

2. 利用実績

項目	前年実績	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
延べ利用者数	障害利用者数 3,618	2,310	△ 1,308	障害者団体の利用は減少し、逆に一般の利用者は増加した。	適
	一般利用者数 3,295	3,941	646		
稼働率	平均 84.1%	81.7%	△2.4%		
	平日 83.5%	83.4%	△0.1%		
	土日祝 85.2%	78.4%	△6.8%		

3. 事業収支

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
利用料金収入	A設備 170,000	228,370	58,370	一般利用者が伸びたため、その料金収入は計画を上回った。	適
	B設備 4,000	3,257	△ 743		
指定管理料	4,191,000	4,191,000	0		
自主事業収入	A事業 0	0	0		
	B事業 0	0	0		
収入計	4,365,000	4,422,627	57,627		
人件費	3,217,500	3,216,287	△ 1,213	〔勤務体制：正職1人、臨時5人〕 火災報知器の電池交換や消防設備法令点検費の支出が計画費を上回ったが、消耗品費や修繕料、通信運搬費の支出を抑制し、かつ利用者の全数の減少により、光熱水費の支出額が下がった。これらのことより、支出総額が抑えられたことと、一般利用者の増加による利用料収入の増加で、今年度は黒字となった。	適
管理費	1,147,500	1,138,169	△ 9,331		
消耗品費	231,500	218,012	△ 13,488		
燃料費	0	0	0		
印刷製本費	0	0	0		
光熱水費	498,750	458,285	△ 40,465		
修繕料	179,500	134,000	△ 45,500		
通信運搬費	41,750	38,220	△ 3,530		
広告料	0	0	0		
手数料	0	315	315		
保険料	91,000	90,770	△ 230		
委託料	90,000	132,000	42,000		
賃借料	0	0	0		
その他	15,000	66,567	51,567		
事業費(ソフト事業等)	0	0	0		
一般管理費	0	0	0		
支出計	4,365,000	4,354,456	△ 10,544		
収支	0	68,171	68,171		

総合コメント  
 貸館業務として、会館日数と利用日数との割合をみると、平日は8割以上の利用率、土日・祝日は7割以上の利用率で有効に活用されていた。一般利用者の内訳をみると、平日の団体利用者が多かったため、総体的に一般利用者の増加につながり、利用料収入が伸びた。支出においては、昨年同様、経費削減の努力を重ね、施設の維持管理や火災・防災への対処も適正に行われていた。職員がきめ細やかに清掃等の環境整備を行い、また経理関係書類も整理されており、全体として健全な運営であったと評価できる。8月に利用者が減少したことに対する分析を行い、今後の利用拡大に向けてさらなる工夫を期待したい。

平成22年度 四日市市障害者体育センター 運営状況 チェックシート①-2

項目		事業分析	適否判断
利用実績		<p>開館日数：295日  延べ利用者6,251人【障害者利用2,310人（付添者619人含む）、一般利用3,941人）、稼働率81.7%】</p>	適
事業 収支	収入	<p>利用者総数は減ったものの、一般利用者の利用回数が増加したため、利用料金収入が昨年よりも増える結果になった。</p>	適
	支出	<p>人件費も管理費もほぼ予定通りの支出であった。管理費の支出状況を見ると、委託料及びその他の支出が計画時よりかなり増額になったが、消耗品・光熱水費・修繕料・通信運搬費の支出を抑えられた結果、全体の支出が減って68,171円の増益につながったことがわかった。委託料が当初計画よりも増額となった理由は、火災報知器の電池交換が発生したことや、消防設備法令点検費が予定外に高かったためであるが、施設管理上必要なものである。また、その他の項目で予定外の支出となったのは、電話機の購入が必要になったため、これも必要なものである。</p> <p>光熱水費の抑制は、利用者数の減少によるものだけではなく、職員が利用者に、こまめな節水・節電を呼びかけたことも影響していると考えられる。また、修繕費の抑制については、昨年度のうちに修理が必要なものを優先的に修理していたので、今年度は施設・備品等のメンテナンス等で済んだことが理由に上げられる。</p> <p>常日頃のメンテナンスが行き届いているので、修繕箇所の早期発見・早期処理がなされ、今年度も小額の経費支出で済んでいる。職員が交代勤務で、施設全体における整理整頓を徹底し、また節約管理もされていることが、事業収支の結果からも窺え、施設長や経理担当者等の職員が一体となって取組んだ結果と思われる。</p>	適

平成22年度 四日市市障害者体育センター 業務の履行状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	業務従業者の要件等	業務執行体制（各業務・作業責任者等）が明確になっているか、また、変更した場合連絡先を市に届出されているか	書面・実地確認	適切に報告等されている	適
	法令等の遵守	法令等で定められた書類を提出したか	書面・実地確認	地方自治法など各種法令・規程に関する書類は提出されていた	適
	報告書等の提出	各業務計画書・報告書は提出されたか 自主事業の計画書・報告書は提出されたか	4/1計画、4/28報告 毎月月次報告確認	仕様書通り行われている	適
			計画、報告、月次報告確認	仕様書通り行われている	適
			4/1予算、4/28決算、毎月書面確認	仕様書通り行われている	適
	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	毎月会議・書類管理 指定管理者面接	十分に情報共有が行われている	適
	各種管理記録等の整備保管	各種業務計画書が整備、保管されているか 業務日誌等の報告書、点検記録は整備、保管されているか 整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか（事業期間終了時まで） 付保している保険を市に通知しているか（更新を含む）	毎月書面・実地確認	仕様書通り行われている	適
			毎月書面・実地確認	仕様書通り行われている	適
			毎月書面・実地確認	仕様書通り行われている	適
			毎月書面・随時実地確認	仕様書通り行われている	適
	非常時・緊急時の対応	緊急事態発生時の対処マニュアル（緊急連絡網の掲示を含む）が整備、保管されているか 緊急発生時、ないし危険が予測される場合に直ちに措置を講じたか 事故等の報告書が提出されたか	報告・書面・実地確認	仕様書通り行われている	適
			報告・書面・月次報告	仕様書通り行われている	適
随時報告・書面確認			仕様書通り行われている	適	
建築物保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	月次報告・実地確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされている	適
		法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか	随時報告・書面確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされている	適
設備保守管理	取扱い説明書 点検・保守	機器等の取扱説明書が整備、保管されているか	随時報告・実地確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされている	適
		点検・保守は確実に実行されているか	随時報告・実地確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされている	適
備品・什器等保守管理	取扱い説明書 点検・保守	機器等の取扱説明書が整備、保管されているか	月次報告・実地確認	仕様書通り行われている	適
		点検・保守は確実に実行されているか	月次報告・実地確認	点検・保守は行なわれている	適
外構施設保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	月次報告・実地確認	点検・保守は行なわれている	適
清掃業務	清掃	清掃は確実に実行されているか	月次報告・実地確認	清潔に清掃されていた	適
警備業務	業務等	業務が計画書に基づいて実施されているか	月次報告・実地確認	仕様書通り行われている	適
		不審者に対し適宜質問をしたり、警察へ通報する等のマニュアルを作成しているか	月次報告・実地確認	仕様書通り行われている	適
	鍵管理	マスターキー等の管理は適切か	月次・実地確認	適切に管理されている	適
	防災	マニュアルは作成されているか	随時・実地確認	作成されている	適
植物育成管理業務	樹木管理	剪定時期等は適切か	随時・実地確認	適切に管理されている	適
	花壇管理	四季の植栽は適切か	随時・実地確認	適切に管理されている	適
施設利用案内	行事開催案内	パンフレット類は整備されているか	月例会議・実地確認	パンフレット類は整備されている	適
	ホームページ作成	ホームページは更新されているか	該当無		
管理システム受付業務	機器管理 システム管理	研修を実施しているか	随時・実地確認	毎月の整備点検時に実施していた	適
		更新・変更は常になされているか	随時・実地確認	毎月の整備点検時に実施していた	適
		トラブルに対応したか	随時確認	適切に管理されている	適

総合コメント

法令等の遵守及び募集要項等に基づく業務計画等の実施について誠実に履行されていた。報告書等も期限までに提出されており、職員の配置、設備機器等の保守・管理、保険の加入等についても適正に履行されていた。緊急避難時マニュアル・連絡網等についても更新され、きちんと整備されていた。  
 なお、各項目の確認方法については、上記のほか月次報告書及び連絡調整等で随時行なった。

平成22年度 四日市市障害者体育センター 自主事業の実施状況 チェックシート

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
障害者スポーツの普及啓発	四日市ろうあ福祉会スポレク	5月30日 ろうあ福祉会会員と家族を対象に卓球・卓球バレー・フライングディスクなどを実施 参加者123名	障害者スポーツの普及啓発を通じて、社会参加を実現する取り組みとして評価できる。	適
障害者スポーツの普及啓発	四日市肢体福祉会卓球とスポレク	6月27日 肢体障害者を対象に卓球を中心とした競技を実施 参加者14名	障害者スポーツの普及啓発を通じて、社会参加を実現する取り組みとして評価できる。	適
障害者スポーツの普及啓発	四日市肢体福祉会卓球とスポレク	10月27日 肢体障害者を対象に卓球を中心とした競技を実施 参加者8名	障害者スポーツの普及啓発を通じて、社会参加を実現する取り組みとして評価できる。	適
障害者スポーツの普及啓発	四日市障害者ニュースポーツ大会	11月7日 スポーツレクリエーション大会と共催して実施 参加者102名	障害者スポーツの普及啓発を通じて、社会参加を実現する取り組みとして評価できる。	適
障害者スポーツの普及啓発	四日市肢体福祉会卓球とスポレク	3月6日 肢体障害者を対象に卓球を実施 参加者8名	障害者スポーツの普及啓発を通じて、社会参加を実現する取り組みとして評価できる。	適
障害者スポーツの普及啓発	シューティング・アロー親善大会	3月6日 肢体障害者を対象にアーチェリー初心者講習会を実施 参加者10名	障害者スポーツの普及啓発を通じて、社会参加を実現する取り組みとして評価できる。	適

総合コメント

昨年度に続き、自主的に障害者スポーツの啓発に取り組んでおり、障害者の社会参加を実現するためのきっかけとして評価できる。



平成22年度 四日市市障害者体育センター 設備・備品の維持管理状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	随時 指定管理者と面接	十分に情報共有が行われている	適
	記録	整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか	月次報告及び実地確認	仕様書通り行われている	適
建築物保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	書類・実地確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされ、修繕等行なわれた。	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	随時報告・実地確認	不具合が生じた際に、適切に報告がなされている	適
	修理	修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	随時実地確認	報告されている	適
設備保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	月次報告・実地確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされ、修繕等行なわれた。	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	月次報告・実地確認	不具合が生じた際に、適切に報告がなされている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	月次報告・実地確認	報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	月次報告・実地確認	適切であった	適
備品・什器等保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	月次報告・実地確認	仕様書通り行われている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	月次報告・実地確認	不具合が生じた際に、適切に報告がなされている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	月次報告・実地確認	報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	月次報告・実地確認	適切であった	適
外構施設保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	月次報告・実地確認	仕様書通り行われている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	月次報告・実地確認	不具合が生じた際に、適切に報告がなされている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	月次報告・実地確認	報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	月次報告・実地確認	適切であった	適

総合コメント

施設・設備等の点検・保守については、業者によって外観・機能点検が半年に1回、総合点検が年1回実施され、消防用設備は毎日職員によって実施されていたので、その結果を連絡調整会議で確認した。点検や検査の実施状況について、緊急又は異常箇所は発見次第、報告・協議を受け、必要によっては担当者が現場に直行し、必要な修繕等ができるよう随時調整等を行った。(オストメイトの使用状況・玄関の手すり設置)

なお、各項目の確認方法については、上記のほか月次報告書及び連絡調整会議等で行なった。

平成22年度 四日市市障害者体育センター サービスの質 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
運営業務	使用許可、 利用料金の 徴収	スムーズに予約できたか	月例会議・実地確認	仕様書通り行われている	適
		許可証は速やかに発行されたか	月例会議・実地確認	仕様書通り行われている	適
	施設利用案内	行事開催案内の時期は適切か	月例会議・実地確認	仕様書通り行われている	適
		ホームページは見易いか	該当無		
	受付・対応 業務	担当者の接客態度は良かったか	実地随時確認	良好であった	適
		使用者に対する指導は適切であったか	実地随時確認	適切に対応されていた	適
		業務従業者は名札を着用しているか	実地随時確認	着用していた	適
運営業務	講座やイベントは満足できる内容であったか	実地随時確認	仕様書通り行われている	適	
維持管理業務	施設・設備 の保守管理 業務	施設が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	実地随時確認	適切に管理されていた	適
		設備が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	実地随時確認	適切に管理されていた	適
	清掃業務	トイレトーパー、消毒用品、手洗い用石鹸は常に補給されているか	実地随時確認	適切に管理されていた	適
		全体的（駐車場を含）に、見た目清潔に保たれているか	実地随時確認	清潔に清掃されていた	適
	警備業務	避難経路には障害物がないか	実地随時確認	障害物は見られなかった	適
	外構・植栽 管理業務	機能・美観が良好な状態に保たれ、利用者が安全に利用することができるか	実地随時確認	良好に管理されていた	適
		利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	実地随時確認	適切に管理されていた	適
		樹木・花壇は見栄え良く管理されているか	実地随時確認	良好に管理されていた	適
		草刈りや除草はされているか	実地随時確認	良好に管理されていた	適
	環境衛生管理業務	快適に利用できる環境となっていたか	実地随時確認	快適に利用できる環境となっていた	適
廃棄物処理業務	廃棄物は適切に分別が行われていたか	実地随時確認	適切に分別が行われていた	適	
備品管理業務	利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	実地随時確認	適切に管理されていた	適	

総合コメント

実地調査において運営面では、募集要項、仕様書で定めた体制を守り、利用者への対応についても苦情はなかった。また、施設の維持管理面では、館内の清掃、点検を日常的に実施し、外溝や備品等についても管理されていた。

利用者アンケートを実施し、料金及び利便性について、昨年に続き適正で使いやすいとの評価を得た。改修された設備管理についても、良い評価がほとんどであったので、総合的には適正に管理運営されていると評価した。

なお、各項目の確認方法については、上記のほか月次報告書及び連絡調整会議等で行なった。